

Young Adult Book Best Selection

～奏～

2020.2

音楽とともにある青春、楽器に導かれる人生、文字から音が聴こえてくるようなそんな一冊に出会ってみませんか♪



『羊と鋼の森』
宮下奈都／著 (Fミヤ)
ピアノの調律に魅せられた一人の青年、外村の真っすぐなピアノへの想いが美しい文章でつづられています。言葉で伝えきれないなら、音で表せるようになればいい…本からピアノの音色が響いてくるような一冊です。



『プラバン』
津原泰水／著 (BFツハ)
高校時代の吹奏楽部が20数年ぶりにメンバーの結婚披露宴で再結成することに…。当時の青春時代と現在が交差しながら描かれたなんとなく切ない気持ちを思い出させる青春グラフィティ。



『モデラートで行こう』
風野潮／著 (YBF カゼ)
元男子校の男子ばかりの高校に入学した奈緒、ノリコたち。彼女たちが選んだ部活はカッコイイ先輩がいる吹奏楽部だった。キツイ練習、思いがけない事件、そして恋と友情。さまざまな出来事によって彼女たちは成長していく…。



『希望の力』
～くじけない、あきらめない心～
フジコ・ヘミング／著
(762 ペ)
心が折れそうな毎日。でも、夢があったから負けなかった。あきらめなければ、なんでも努力した分だけ、少しづつでも道が開けてくる。奇跡のピアニスト、フジコ・ヘミングが子どもたちに勇気と希望の言葉をおくります。



『アーモンド入りチョコレートのワルツ』
森絵都／著 (YFモリ)
アーモンド入りチョコレートのように生きていきなさい。サティおじさんのその言葉はすとんと私の中に入りこみ、どこかのふたを開けた…。シューマン、バッハ、サティの3つのピアノ曲から生まれた物語ワルツ。



『いのちのヴァイオリン』
～森からの贈り物～
中澤宗幸／著
(763 ナ)
「ヴァイオリンのお医者さん」が、どんなふうにヴァイオリンの制作や修復を仕事をするようになったのか、ヴァイオリンを通して「自然の中で人間が生きていくとはどういうことか」を問いかけてくる一冊です。

水巻町図書館